

令和3年度 学校関係者評価 中津市立三郷小学校

1 学校の教育目標： 課題に「気づき」深く「考え」意欲を高めて「挑戦」する児童の育成

2 育成を目指す資質・能力： 言語能力 ・ 問題発見・解決能力

評定判断基準	
A	…達成率90～100%
B	…達成率70～ 89%
C	…達成率60～ 69%
D	…達成率60%未満

計画（1月 7日）		学校関係者評価（2月25日）		
重点目標	達成指標	評価	今年度を通しての意見・感想・来年度に向けた要望など	
<p>空きて働く知識・技能の習得</p> <p>課題既習事項の定着と習得</p>	<p>○児童アンケート「キーワードをつかってふりかえりができた」(書けるか言えるの項目で◎と回答する児童の割合が60%以上</p> <p>○国語の単元テストにおける観点別の項目で80点以上の児童の割合が75%以上</p>	B	<p>・「キーワード」を活用したり、単元テストで子供の成長をチェックしたりしているのはとてもよいと思う。(一方通行ではなく成果の確認の意味からも)</p> <p>・意見を言ったり、学力をつけるには、「本の多読」が大切だと思うので、現在実施の「親子読書」を今後も広げていくとよいと思う。</p> <p>・毎時間、振り返りをする中で、「キーワードを使ってふりかえりができた」割合が60%以上と設定しているのは、目標設定が低いように思う。達成指標が58%なのだから、70%以上をめざすべきだと思います。</p> <p>・単元テストの結果で、5,6年生が90%～100%達成できていることはすばらしい。学習への興味・関心を高めることから考えても、低学年の結果の伸びを期待します。</p> <p>・自分で目標をたてて、児童一人一人が頑張っていると思います。</p> <p>・親子読書等で、本に関わることはよいことだと思います。</p> <p>・2月7日～2月10日の国語単元テストの結果で、4年、6年の割合が少し気になるところです。</p> <p>・スキルタイムは全学年で実施できているので、この時間にキーワードを活用してさらに復習ができると、58%が60%以上につながると思います。</p> <p>・親子読書やメディアコントロールを実施していない時の、家庭内での過ごし方はどうなのでしょうか？</p> <p>・学力が向上しているのは、先生方のお力だと感じています。家庭と協力してやる気を育てていただきたいと思います。</p> <p>・課題設定する力の習得には、家庭の力も大きく関わってくるので、地域でできることがあれば協力したいと思います。</p>	
	<p>問題他と協力の育成</p> <p>問題解決と協力の育成</p>	<p>○児童アンケートで、「ペア・グループ活動を通して思いを伝え合うことができた。」◎◎と回答する児童の割合を85%以上</p> <p>○児童アンケートで、「いろいろな方法で考えるためにICT・思考ツールを活用することができた。」◎◎と回答する児童の割合を85%以上 (ホワイトボード・ロイロノートなど)</p>	A	<p>・「コロナ禍」のタブレット端末活用はよかったと思います。</p> <p>・タブレット端末を使いこなす児童を見て驚きました。学力Upのツールとしても使えるのでは？</p> <p>・新型コロナウイルス感染対策が授業でなされている中でも、ペア・グループ学習の中で、思いを伝えられた割合が高いことは、思考ツールを活用した授業改善が進んでいる成果だと思います。</p> <p>・ペア・グループで、自分の思いや考えを言い合えることは、これから咲きの社会のために役立つと思います。</p> <p>・タブレット端末は、児童にとって身近なものなので、今以上に利用することがよいと思います。</p> <p>・ホワイトボードやタブレットの活用方法が理解できているのでしょうか。考える方法として効果大だと感じています。</p> <p>・人と人との関係、思いやり、いたわり等も大切だと思うので、日常生活では人間として大切なことも教育していただきたいと思います。</p> <p>・「ペア・グループ活動を通して思いを伝え合うことができた。」の回答に、肯定的評価が98%、このまま継続できる取り組みをお願いしたいと思います。</p>
	<p>意欲的に行動する力の育成</p> <p>身につけた力を活用して意欲的に行動する力の育成</p>	<p>○共通アンケートの「みんなで何かするのは楽しい」の項目で、当てはまると回答する児童の割合を90%以上</p> <p>○児童アンケートの「感想発表で、自分の思ったことや感じたこと等を伝えることができた。」の項目で、◎◎と回答する児童の割合90%以上</p>	A	<p>・今まであたり前のようにできていたことも、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、活動が中止等になり、限られた活動を子どもたちが「やっぱり楽しい」と実感した結果、高い数値になったと思う。先生方の苦労や工夫の成果だと思います。</p> <p>・「コロナ禍」で、勉強の遅れなどの学力低下が心配されています。児童の心の状態なども、今は症状がなくても後々出ることもあります。制限はこれからもあると思いますが、学校や友だちと会うことは楽しいと感じる児童がもっと増えたらよいです。</p> <p>・「みんなで何かするのは楽しい」の割合が高くなりよかったですと思いますが、あてはまらない残りの子どもたちはどうなのかなと気になります。</p> <p>・「コロナ禍」で、高学年は今までとちがう行事の形をとる等の行動制限もある中で、楽しい思い出づくりができていたらうれしいと思います。</p> <p>・「チームやまくに」としての学校の取り組みを、今後、中学校に行っても継続して行ってほしいし、住民としても先生方の熱意には感謝しています。</p> <p>・自分の思いを伝えることは、発表する度胸等、苦手な子どもには大変なこととは思いますが、期待しています。</p>
<p>働き方改革の推進</p> <p>時間外勤務の削減</p>	<p>○1箇月の時間外在校等時間を40時間以内にする。</p>	A	<p>・前年度月比よりも超過勤務平均時間が増えている状況は、今後改善してほしい。40h越えは特定の職員だと思われるが、教職員の体調管理の面からもよくないと思う。</p> <p>・在校時間を少なくすれば、持ち帰りの仕事量が増えているのではないかと心配される。</p> <p>・「コロナ禍」によるオンライン化等、業務の効率化によって、先生方の負担が少なくなるよう進めていただきたい。</p>	

空きて働く知識・技能の習得

問題他と協力の育成

意欲的に行動する力の育成

働き方改革の推進